

## 高砂義勇兵の慰霊碑 資金難で存続危機 台湾

---



【台北＝河崎真澄】太平洋戦争に「日本兵」として出征した台湾先住民出身の「高砂義勇兵」戦没者を祭る台北郊外の慰霊碑の存続をめぐる問題が難航。慰霊碑に土地を提供した観光会社の倒産に伴い、当初予定の七月末までに移転か現状維持かの結論が得られなかった。関係者は、九月までに結論を出したいとしている。

慰霊碑の建立委員で先住民タイヤル族の邱克平(民族名マカイ・リムイ)氏によると、関係者は近く、「高砂義勇兵英霊慰霊碑を守る会」を財団法人格で設立する方針。邱氏は「慰霊碑を移転せざるを得ない場合には、広く資金支援を求めたい」という。

慰霊碑は台北県烏来(ウライ)郷で一九九二年に建立されたが、土地を提供していた地元観光会社が新型肺炎(SARS)の影響で負債を抱え倒産。土地を更地にして借地権を転売することになり、慰霊碑移転問題が持ち上がっていた。

産経新聞は台湾の「高砂義勇兵英霊慰霊碑」を守るための義援金を募ります。一口千円で何口でもお受けします。

【送り先】郵便振替で00100 - 2 - 463465、または銀行振込で「みずほ銀行」東京中央支店110 - 5662608「高砂義勇兵英霊慰霊碑を守る会」(タカサゴギユウヘイエレイイレイヒヤマモルカイ)まで。TEL03・3275・8906。義援金に免税措置は受けられません。